



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月29日

上場会社名 株式会社ドリコム
コード番号 3793 URL <https://drecom.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 後藤 英紀

TEL 03-6682-5700

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,184	37.8	1,052	216.8	1,032	249.5	825	286.4
2020年3月期第2四半期	4,488	19.3	332	157.4	295	135.8	213	132.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 826百万円 (284.7%) 2020年3月期第2四半期 214百万円 (132.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	29.01	28.96
2020年3月期第2四半期	7.52	7.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	7,079	3,042	42.1	104.48
2020年3月期	6,423	2,168	32.9	74.22

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,980百万円 2020年3月期 2,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期第3四半期累計期間の連結業績予想(2020年4月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	9,100	30.5	1,400	163.8	1,350	162.4	1,050	168.8	36.81

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	28,951,700 株	2020年3月期	28,894,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	428,366 株	2020年3月期	434,366 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	28,469,938 株	2020年3月期2Q	28,415,413 株

(注)株式会社日本カストディ銀行(以下、「ESOP信託口」という。)が所有する当社株式407,300株(議決権の数4,073個)につきましては、上記期末自己株式数に含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2020年10月29日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するインターネットサービス業界を取り巻く環境は急速な変化を続けております。令和元年通信利用動向調査によると、令和元年(2019)9月末時点で、スマートフォンを保有する世帯の割合は83.4%に達し、固定電話、パソコンの保有世帯割合を上回り、スマートフォンは現在の日常生活において最も主要な情報通信機器と位置付けられる状況になっております。また、令和元年(2019)9月末時点で、スマートフォンを使用してインターネットを利用する人の割合は63.3%となり、50.4%のPCと並び、スマートフォンはインターネット利用における主要なデバイスと位置付けられています。このように、スマートフォンの急速な普及とインターネットデバイスとしての重要性が増していることを受け、インターネットサービス業界では、スマートフォン向けの新規サービスが次々と創出され、市場拡大と競争の激化が続いております。

こうした環境の下、当社グループはスマートフォン向けサービスの提供を主な事業と位置付け、既存サービスの拡充および新規サービスの開発に注力しております。主力事業のソーシャルゲーム事業では、IPゲームに焦点を当てた戦略の下、新規IPゲームの開発・運用を通じた事業拡大に取り組んでおり、メディア事業では、次世代の主力事業創出を目的とした新規サービスの開発・運用にも取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続きIPゲームタイトルを中心に運用中タイトルが順調に推移しました。前期末に譲受したオリジナルタイトルにつきましても、運用チームの移行が順調に進み、またグループ一体となつての運用効率に向けた取り組みも功を奏し、引き続き安定的に収益寄与いたしました。同時に、不採算タイトルへの対応も着実に進み、主力のゲーム事業の収益性は一層向上、事業の安定性も増しております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は6,184,699千円(前年同期比37.8%増)、営業利益は1,052,203千円(前年同期比216.8%増)、経常利益は1,032,103千円(前年同期比249.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は825,977千円(前年同期比286.4%)となりました。当第2四半期連結累計期間のセグメントごとの状況は次のとおりであります。

ゲーム事業

当事業セグメントはゲームの開発・運営が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルIPゲームの開発・運営を行っております。

他社IPゲームにつきましては、当第1四半期にみられた業績を大きくけん引する大型イベントはなかったものの、いずれのタイトルも安定的にユーザーの支持を集め、順調な推移を維持しました。オリジナルゲームにつきましても、配信開始から8年を迎える長期運用タイトル、及び前期末に譲受したタイトルを中心に売上水準を維持し、安定的に業績寄与しました。運用タイトルの増加、及び運用中タイトルの順調な推移を受け、売上高は前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、昨年より注力している不採算タイトルへの対応が一層進んだ他、運用効率化及び足元の経済情勢を鑑みた費用抑制の影響もあり、費用発生が前年同期比で減少した結果、営業利益は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は6,123,307千円(前年同期比42.9%増)、営業利益は1,236,027千円(前年同期比169.8%増)となりました。

引き続き主力事業である当セグメントの売上高、営業利益の増伸に努めてまいります。

メディア事業

メディア事業では、次世代の主力事業創出を目的とした取り組みの一環である『DRIP(Drecom Invention Project)』のもと、2018年8月に発表した位置情報と3DリアルマップによるARスマートフォンアプリ構築プラットフォーム『AROW』等、当社の有するインターネットサービスの知見を活かした新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねました。

なお、本事業セグメントでは、長らく広告事業を主要サービスと位置付けゲーム事業以外の注力領域としてまいりましたが、主力のゲーム事業を軸とした成長戦略の下、同事業へ一層経営資源を集中することとし、広告事業については当第1四半期をもって、全サービスを終了いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比で減少し、セグメント売上高は61,888千円(前年同期比69.8%減)となりました。利益につきましては、当セグメントで取り組む新規サービスの多くが事業開発段階にあることから、費用先行が続いており、セグメント損失183,326千円(前年同期はセグメント損失125,828千円)となりました。

今後につきましては、主力のゲーム事業の一層の採算性向上に取り組むほか、新規事業開発においてゲーム以外のエンターテインメント領域での事業開発に注力し、ゲーム事業を軸とした総合エンターテインメント企業への成長を目指してまいります。

なお、今期におきましては、新型コロナウイルス感染症の流行に鑑み、安定的な利益の創出とキャッシュフローの確保を最優先事項と位置づけ、経済状況が安定するまでの当面の間、保守的な姿勢で経営に取り組んでまいります。具体的には、既存ゲーム事業の不採算タイトルへの対応を中心とする一層の収益性の向上と、現在のサービスポートフォリオを事業環境に適った形へと見直し、経営リソースの効率的な配分を図ってまいります。また、新規事業開発についても、利益とキャッシュフローを圧迫しないという前提のもと、継続的に研究開発を行い、中長期での成長も意識してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結累計期間末における流動資産は5,281,503千円となり、前連結会計年度末に比べ709,628千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が915,764千円増加したことによるものであります。固定資産は1,798,011千円となり、前連結会計年度末に比べ53,872千円減少いたしました。これは主にソフトウェアが65,709千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は7,079,514千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結累計期間末における流動負債は3,057,598千円となり、前連結会計年度末に比べ537,065千円減少いたしました。これは主に短期借入金が888,000千円減少したことによるものであります。固定負債は979,793千円となり、前連結会計年度末に比べ319,242千円増加いたしました。これは主に長期借入金が525,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,037,392千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産合計は3,042,121千円となり、前連結会計年度末に比べ873,578千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益825,977千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.1%（前連結会計年度末は32.9%）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,262,947	3,178,711
売掛金	1,732,187	1,868,227
仕掛品	-	358
前払費用	371,935	153,610
その他	204,805	80,596
流動資産合計	4,571,875	5,281,503
固定資産		
有形固定資産		
建物	290,161	293,156
減価償却累計額	△161,475	△169,001
建物(純額)	128,685	124,154
工具、器具及び備品	73,001	74,779
減価償却累計額	△57,554	△61,395
工具、器具及び備品(純額)	15,446	13,384
リース資産	61,853	61,853
減価償却累計額	△34,469	△40,655
リース資産(純額)	27,383	21,198
有形固定資産合計	171,516	158,737
無形固定資産		
ソフトウェア	766,738	701,029
ソフトウェア仮勘定	139,850	142,984
無形固定資産合計	906,589	844,013
投資その他の資産		
投資有価証券	5,222	5,222
繰延税金資産	313,705	325,943
敷金	308,300	308,300
その他	146,548	155,792
投資その他の資産合計	773,777	795,259
固定資産合計	1,851,883	1,798,011
資産合計	6,423,758	7,079,514

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	425,132	377,273
短期借入金	1,180,000	292,000
1年内返済予定の長期借入金	646,663	746,000
1年内償還予定の社債	45,000	-
リース債務	16,043	16,045
未払金	772,316	807,464
未払法人税等	64,114	240,619
賞与引当金	105,640	168,702
その他	339,753	409,493
流動負債合計	3,594,664	3,057,598
固定負債		
長期借入金	285,000	810,000
リース債務	21,160	13,137
資産除去債務	84,254	84,533
その他	270,136	72,122
固定負債合計	660,551	979,793
負債合計	4,255,215	4,037,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,735,288	1,753,377
資本剰余金	1,991,623	2,010,148
利益剰余金	△1,478,302	△652,325
自己株式	△136,203	△131,058
株主資本合計	2,112,405	2,980,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51	△35
その他の包括利益累計額合計	△51	△35
新株予約権	53,752	60,523
非支配株主持分	2,436	1,492
純資産合計	2,168,542	3,042,121
負債純資産合計	6,423,758	7,079,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,488,977	6,184,699
売上原価	3,363,085	4,228,431
売上総利益	1,125,892	1,956,268
販売費及び一般管理費	793,711	904,064
営業利益	332,181	1,052,203
営業外収益		
受取利息	20	13
受取配当金	-	8,072
持分法による投資利益	17,980	-
その他	1,033	1,474
営業外収益合計	19,034	9,559
営業外費用		
支払利息	14,402	15,011
支払手数料	5,502	-
社債利息	705	259
為替差損	2,187	13,297
賃貸借契約解約損	30,201	-
その他	2,878	1,090
営業外費用合計	55,877	29,659
経常利益	295,338	1,032,103
特別損失		
減損損失	52,693	-
特別損失合計	52,693	-
税金等調整前四半期純利益	242,644	1,032,103
法人税、住民税及び事業税	21,880	217,383
法人税等調整額	5,989	△12,245
法人税等合計	27,870	205,138
四半期純利益	214,774	826,965
非支配株主に帰属する四半期純利益	995	988
親会社株主に帰属する四半期純利益	213,779	825,977

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	214,774	826,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	16
その他の包括利益合計	△48	16
四半期包括利益	214,725	826,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,730	825,993
非支配株主に係る四半期包括利益	995	988

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	242,644	1,032,103
減価償却費	126,712	288,247
株式報酬費用	1,683	18,795
賃貸借契約解約損	30,201	-
減損損失	52,693	-
受取利息及び受取配当金	△20	△8,841
持分法による投資損益 (△は益)	△17,980	-
支払手数料	5,502	-
支払利息	14,402	15,011
社債利息	705	259
売上債権の増減額 (△は増加)	27,861	△136,039
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△259,325	△280
未収入金の増減額 (△は増加)	112,408	117,168
前払費用の増減額 (△は増加)	△291,379	222,451
仕入債務の増減額 (△は減少)	△19,309	△47,858
未払金の増減額 (△は減少)	△237,044	26,906
未払消費税等の増減額 (△は減少)	-	52,318
前受金の増減額 (△は減少)	158,230	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,509	61,362
その他	△39,572	26,991
小計	△105,095	1,668,596
利息及び配当金の受取額	950	8,841
利息の支払額	△13,792	△19,397
法人税等の支払額	△10,731	△39,369
法人税等の還付額	69,315	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△59,352	1,618,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,952	△4,773
無形固定資産の取得による支出	△305,208	△208,120
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△164,000
その他	△7,550	△2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△314,710	△378,893
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,300,000	△888,000
長期借入れによる収入	-	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,804,334	△375,663
社債の償還による支出	△51,000	△45,000
その他	△21,309	△15,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	△576,643	△324,012
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△950,706	915,764
現金及び現金同等物の期首残高	2,856,170	2,258,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,905,464	3,174,471

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	ゲーム事業	メディア事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,283,816	205,161	4,488,977	-	4,488,977
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,283,816	205,161	4,488,977	-	4,488,977
セグメント利益又は損失(△)	458,009	△125,828	332,181	-	332,181

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	ゲーム事業	メディア事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,123,307	61,391	6,184,699	-	6,184,699
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	496	496	△496	-
計	6,123,307	61,888	6,185,196	△496	6,184,699
セグメント利益又は損失(△)	1,235,530	△183,326	1,052,203	-	1,052,203

(注) 1. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「エンターテインメントサービス」から「ゲーム事業」、「広告メディアサービス」から「メディア事業」に各々セグメント名称を変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの名称に合わせて作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。